

令和元年度 第31回 全国高等学校情報処理競技大会

主 催 全 国 商 業 高 等 学 校 長 協 会
公益財団法人 全国商業高等学校協会
後 援 文 部 科 学 省

2019. 7. 28

全 国 大 会 競 技 問 題

〔Ⅱ〕 表計算とアルゴリズム

(解答時間 問題【1】，【2】，【3】，【4】とあわせて40分)

注意事項

- (1) 筆記用具は、鉛筆またはシャープペンシルと消しゴムです。
- (2) 筆記用具などの物品の貸借はできません。
- (3) 電卓は使用できません。
- (4) 解答は明瞭に記入してください。
- (5) 答案を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
- (6) 答案作成が終わっても、着席したまま静かにしてください。
- (7) 途中で気分が悪くなった場合は、手をあげて係員に知らせてください。

【注意】 係員の指示があるまで、問題に手を触れないでください。

- (6) G10～G19は、シート名「売上表」から「商品コード」ごとに「店舗コード」および「分析月」における「売上数」の合計を求める。また、H10～H19は、F10～F19と同様に求める。
- (7) I10～I19は、分析店舗の「売上数」に、「商品コード」の右端2桁を抽出し、10との差を求め小数第1位に付与する。
- (8) E20～H20は、各列の合計を求める。
2. シート名「売上表」は、次のように作成されている。
- (1) B4～B110000は、作成条件4を参考に年、月、日を抽出し、日付シリアル値に変換する。
- (2) C4～E110000は、作成条件4を参考に必要なデータを抽出する。
3. シート名「報告書」は、次のように作成されている。
- (1) B6は、シート名「売上集計表」のI10～I19のうち、1番大きな「検索値」の「商品コード」を表示する。なお、B7は2番目、B8は3番目と続き、10番目までの「商品コード」を表示する。
- (2) C6～C15およびD6～D15は、「商品コード」をもとに、シート名「売上集計表」を参照して「商品名」および「売上数」を表示する。
- (3) E6～E15は、分析店舗における「売上数」の合計に対する売上数の割合を求める。
- (4) F6～F15は、6行目から当該行までの「売上数比率」の累計を求める。
- (5) G6～G15は、F6～F15が70%以下の商品はA、70%を超え90%以下の商品はB、90%を超える商品はCを表示する。ただし、1商品のみで70%を超える場合、Aを表示する。
- (6) B19は、シート名「売上集計表」のC5の11か月前の年月を表示する。
- (7) C19～C30は、B6に表示されている「商品コード」の「売上数」を、シート名「売上表」から「年月」ごとに求める。
- (8) D19～D30は、19行目から当該行までの「売上数」の累計を求める。
- (9) E19～E30は、シート名「売上表」から「分析月」を含めた過去12か月間の「売上数」の合計を求める。

問1 シート名「売上集計表」のA2に設定する式の空欄(1)～(4)にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。

=売上集計表 "& (1) (C5)& (2) & (3) (C5)& (4)

解答群

ア TODAY	イ WEEKDAY	ウ YEAR	エ "月分"
オ "年"	カ MONTH	キ "月時点"	ク NOW

問2 シート名「売上集計表」のH4に設定する式の空欄(1)～(3)にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。

=IF(C4="", "", IFERROR((1) (C4, (2) , 2, FALSE), (3)))

解答群

ア 店舗表!A4:B13	イ 店舗表!B4:B13	ウ INDEX	エ HLOOKUP
オ 店舗表!A4:A13	カ VLOOKUP	キ ""	ク "NG"

問3 シート名「売上表」のB4に設定する式の空欄(1)～(4)にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。

=IF(A4="", "",
DATE(VALUE((1) (A4, (2))), VALUE(MID(A4, (3) , 2)), VALUE(MID(A4, (4) , 2))))

解答群

ア DAY	イ LEFT	ウ MONTH	エ RIGHT
オ 4	カ 5	キ 6	ク 7

問4 シート名「報告書」のG6に設定する式の空欄(1)～(4)にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。ただし、この式をG15までコピーする。

=IF(OR(売上集計表!\$H\$5="", 売上集計表!\$H\$5="NG"), "",
IF(OR((1) <30%, (2) <=70%), 解答不要, IF((2) <=90%, (3) , (4))))

解答群

ア D6	イ E6	ウ F6	エ 100%-E6
オ 100%-F6	カ "C"	キ "B"	ク "A"

問5 シート名「報告書」のE19に設定する式の空欄(1)～(4)にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。ただし、この式をE30までコピーする。

=IF(\$B\$6="", "", SUMIFS(売上表!\$E\$4:\$E\$110000, 売上表!\$C\$4:\$C\$110000, 売上集計表!\$C\$4,
売上表!\$D\$4:\$D\$110000, \$B\$6, 売上表!\$B\$4:\$B\$110000, ">="&DATE((1) (B19), (2) (B19)-(3) , 1),
売上表!\$B\$4:\$B\$110000, "<"&DATE((1) (B19), (2) (B19)+(4) , 1)))

解答群

ア 1	イ 2	ウ 3	エ 10
オ 11	カ 12	キ MONTH	ク YEAR

シート名「注文表」

シート名「商品表」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	商品表		単価		色対応					
3	商品コード	商品名	シャツ	パンツ	生地色コード				選択色数	
4	GW01	ゲームウェア01	4,500	4,500	Wh	Bk	B1	Re	Gr	2
5	GW02	ゲームウェア02	3,800	3,800	Wh	Bk	B1	Re	Gr	2
6	GW03	ゲームウェア03	4,500	4,500	Wh	Bk	B1	Re	Gr	2
7	WB01	Wブレーカー01	3,900	3,900	Bk	B1				2
8	WB02	Wブレーカー02	4,500	4,700	Bk	B1				1
9	WB03	Wブレーカー03	4,500	5,000	Wh	Gr	Bk	Re	Or	2
10	WB04	Wブレーカー04	5,600	6,000	Wh	Bk	B1	Re	Gr	2
11	SW01	スウェットウェア01	3,800	4,300	Wh	Bk	B1	Re	Gr	1
12	SW02	スウェットウェア02	4,300	4,300	Wh	Gr	Bk	Re	Or	2
13	SW03	スウェットウェア03	4,800	5,300	Bk	B1	Re	Gr		2

シート名「オプション表」

	A	B	C	D	E	F
1						
2	色表			割引表		
3	色コード	色名		枚数	割引率	
4	Wh	ホワイト		1 ~ 10	0%	
5	Gy	グレー		11 ~ 25	3%	
6	Bk	ブラック		26 ~ 50	5%	
7	Bl	ブルー		51 ~	8%	
8	Pu	パープル				
9	Re	レッド				
10	Pi	ピンク				
11	Or	オレンジ				
12	Gr	グリーン				

シート名「郵便番号表」

	A	B
1		
2	郵便番号表	
3	郵便番号	住所
}	}	}
38618	1620065	東京都新宿区住吉町
38619	1600015	東京都新宿区大京町
38620	1690075	東京都新宿区高田馬場
}	}	}

作成条件

1. シート名「注文表」の入力欄に適切なデータを順に入力すると、チームウェア注文書が作成できる。なお、未入力の場合、確認欄に「未入力」と表示する。また、各入力欄が制限文字数を超えた場合や、入力された値が適切でない場合、確認欄にその理由と「NG」を文字列結合して表示し、その次の入力項目以降の確認欄と J 30～J 34に何も表示しない。ただし、注文者は入力欄のすべての項目を入力するものとする。
2. シート名「商品表」の「色対応」は、各商品の生地を利用できる色コード（生地色コード）と、デザイン用に指定する必要のある色数（選択色数）である。例えば、「商品コード」が WB01 の場合、「生地色コード」が Bk B1 であり、色コード Bk（ブラック）または、B1（ブルー）が指定可能である。また、「選択色数」が 2 の場合、シート名「オプション表」の「色コード」のうち、2色を指定する。ただし、「選択色コード」はシート名「オプション表」の「色表」にあるすべての「色コード」から指定することができる。

作成手順

1. シート名「注文表」は、次のように作成されている。
 - (1) J 4は、本日の日付を自動的に表示するための関数が設定されている。
 - (2) J 7～J 8, J 12およびJ 21は、「入力欄」の文字数が「制限文字数」以下の場合、OK を表示する。
 - (3) J 10は、C10をもとにシート名「郵便番号表」の「郵便番号」に対応する「住所」がある場合、OK を表示する。また、OK の場合、C11に「住所」を表示する。
 - (4) J 13～J 14は、C13およびC14の文字数が「制限文字数」と同じ、かつ左端1文字が 0、かつ - を空文字に置き換えた結果が数字のみ、かつ二つ目の - が8文字目の場合、OK を表示する。
 - (5) J 15は、C15の文字数が「制限文字数」と同じ、かつ左端1文字が 0 の場合、OK を表示する。

- (6) J16は、文字列中に @ があり、かつ文字数が「制限文字数」以下の場合、OK を表示する。
 (7) J18は、J7～J16のすべての項目が OK の場合、C18をもとに、シート名「商品表」を参照して「商品名」を表示する。
 (8) J19は、C18とC19をもとに、シート名「商品表」の「商品コード」に対応する「生地色コード」がある場合、シート名「オプション表」の「色表」を参照して「色名」を表示する。
 (9) J20は、C20をもとに、シート名「オプション表」の「色表」を参照して「色名」を表示し、D20にデータが入力された場合、C20の「色名」の右端に空白文字とD20の「色名」を文字列結合して表示する。なお、C20とD20に同じコードが入力されている場合、選択色コードNG を表示する。
 (10) J24～J25は、シャツおよびパンツの種類別に枚数を集計する。なお、枚数に数字以外が入力された場合、注文数NG を表示する。ただし、注文がない場合、何も表示しない。
 (11) J27は、C27が「注文日」の20日未満の場合、納期NG を、「注文日」の30日未満の場合、「希望納期」と7%割増を文字列結合し、それ以外の場合、「希望納期」と割増なしを文字列結合して表示する。
 (12) J30は、C18をもとに、シート名「商品表」を参照して求めた「シャツ」の「単価」に、J24を掛けて求める。
 (13) J31は、C18をもとに、シート名「商品表」を参照して求めた「パンツ」の「単価」に、J25を掛けて求める。
 (14) J32は、J27に7%割増が含まれている場合、J30～J31の合計に7%を掛けて求める。ただし、50円単位に切り捨てて表示する。
 (15) J33は、J30に、J24をもとに、シート名「オプション表」を参照して求めた「割引率」を掛けたものと、J31に、J25をもとに、シート名「オプション表」を参照して求めた「割引率」を掛けたものを、それぞれ50円単位に切り上げて合計する。
 (16) J34は、J30～J32の合計からJ33を引いて求める。

問1 シート名「注文表」のJ7に設定する式の空欄(1)～(2)をうめなさい。

=IF(C7="", "未入力", IF(LEN([(1)]) <= [(2)], "OK", "制限文字数NG"))

問2 シート名「注文表」のJ13に設定する式の空欄(1)～(4)をうめなさい。

=IF(C13="", "未入力", IF(J12<>"OK", "", IF([(1)](LEN(C13)=H13, LEFT(C13, 1)=""0", IFERROR(VALUE([(2)](C13, "-", "")), [(3)]) > 0, [(4)]("-", C13, [(4)]("-", C13, 1)+1)=8), "OK", "電話番号NG"))

問3 シート名「注文表」のJ19に設定する式の空欄(1)～(4)をうめなさい。

=IF(C19="", "未入力", IF(OR(J18="", J18="未入力", J18="商品コードNG"), "", IF([(1)](OFFSET(商品表!E3:I3, [(2)]([(3)], 商品表!A4:A13, 0), 0, 1, 5), C19)= [(4)], VLOOKUP(C19, オプション表!A4:B12, 2, FALSE), "生地色コードNG"))

※OFFSET関数は、第1引数の基準であるセルまたはセル範囲から、第2引数の行数の分、第3引数の列数の分だけをシフト(移動)した位置のセルやセル範囲を参照した結果を返す。また、第4引数の高さ、第5引数の幅を設定すると、セル範囲を自動で指定できる。

書式 OFFSET(基準, 行数, 列数, [高さ], [幅])

問4 シート名「注文表」のJ24に設定する式の空欄(1)～(3)をうめなさい。

=IF(OR(J21<>"[(1)]", SUM(C24:G24)=0), "", IF([(2)](C24:G24)= [(3)](C24:G24), SUM(C24:G24), "注文数NG"))

問5 シート名「注文表」のJ33に設定する式の空欄(1)～(3)をうめなさい。

=IF(OR(J27="", J27="未入力", J27="納期NG"), "", IFERROR([(1)](VLOOKUP(J24, オプション表!D4:F7, [(2)], TRUE)*J30, [(3)]), 0) + IFERROR([(1)](VLOOKUP(J25, オプション表!D4:F7, [(2)], TRUE)*J31, [(3)]), 0))

問6 シート名「注文表」が次のように表示されているとき、J34に表示される適切なデータを答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										

(注) ※印は、値の表記を省略している。

【3】 ある企業の人事部では、新入社員研修の進捗状況を把握するために、出力形式のような一覧表を作成した。処理条件にしたがって、流れ図の(1)～(5)の空欄にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

新入社員ファイル

社員番号	社員名	部署番号
------	-----	------

課題提出ファイル

提出日	社員番号	科目番号	講習番号	点数
Tdate	Syab	Kamb	Kosb	Ten

入出力形式

研修ファイル

社員番号	科目番号	講習番号	点数
Syab	Kamb	Kosb	Ten

処理条件

- 部署番号は 1 (人事部) ～6 (開発部) , 科目番号は 1～5, 講習番号は 1～7, 点数は 0～100 である。ただし, 科目ごとに講習数が異なる。
- 配列 Bmei に部署名を記憶する。なお, Bmei の添字は部署番号と対応している。
- 配列 Kmei に講習名を, 配列 Ksu に科目ごとの講習数を記憶する。なお, Ksu(0) には総講習数を記憶する。また, Kmei の行方向の添字と Ksu の添字は科目番号と, Kmei の列方向の添字は講習番号と対応している。
- 新入社員ファイルを読み, 配列 Sban に社員番号を, 配列 Smei に社員名を, 配列 Bban に所属する部署番号を記憶する。なお, 新入社員ファイルは社員番号の昇順に記録されており, 新入社員数は30人以下である。また, Sban, Smei, Bban の添字はそれぞれ対応している。
- 研修ファイルを読み, 社員番号をもとに配列 Sban を探索し, 配列 Ssyu に点数を記憶する。なお, 研修ファイルは社員番号の昇順に記録されている。また, Ssyu のシートの添字は配列 Sban の添字と, 行方向の添字は科目番号と, 列方向の添字は講習番号と対応している。さらに, Ssyu の 0 列目に科目番号ごとの課題の提出回数を, Ssyu の 0 行目 0 列目は, 社員ごとに課題の総提出回数を求める。
- 課題提出ファイルを読み, 次の処理を行う。
 - 点数が60点以上の場合, 社員番号をもとに配列 Sban を探索し, 配列 Ssyu に点数を記憶する。また, Ssyu の 0 列目に科目番号ごとの課題の提出回数を, Ssyu の 0 行目 0 列目は, 社員ごとに課題の総提出回数を求める。
 - 科目番号ごとの配列 Ssyu の行方向の点数と今回提出された課題の合計が, 残り提出分がすべて満点でも平均80点未満となる場合, 該当する課題の点数を 0 に変更し, 提出回数を 1 減らす。また, 配列 Sai の 1 列目から順に社員番号, 科目番号, 講習番号, 点数を記憶する。
 - 点数が60点未満の場合, 配列 Sai の 1 列目から順に社員番号, 科目番号, 講習番号, 点数を記憶する。
- データを読み終えたあと, 次の処理を行う。
 - 部署番号が変わるごとに部署名を表示する。
 - 進捗率(%)を次の計算式により求め, 出力形式のように表示する。なお, グラフは進捗率10%ごとに ★ を一つ表示する。

$$\text{進捗率}(\%) = \frac{\text{総提出回数} \times 100}{\text{総講習数}}$$
 - 配列 Sai の内容を再提出者として, 出力形式のように表示する。
 - 配列 Ssyu のうち, 点数が 0 以上のデータを研修ファイルに出力する。
- 入力データに誤りはないものとする。

出力形式

(6月30日現在 新入社員研修進捗状況)				
(部署名)				
人事部				
(社員番号)	(社員名)	(進捗率(%))	・グラフ	
1901	大泉〇〇	69	★★★★★★	
1919	釜本〇〇	46	★★★★	
}	}	}	}	
}				
開発部				
1908	大木〇〇	65	★★★★★★	
1909	前崎〇〇	100	★★★★★★★★★★	
1912	田村〇〇	50	★★★★★	
1918	木村〇〇	88	★★★★★★★	
(再提出者)				
(社員番号)	(科目番号)	(講習番号)	(講習名)	(点数)
1903	4	3	顧客戦略の展開	58
1918	5	2	販売管理者の知識	59
1912	3	3	LSPの役割	72
}	}	}	}	}

配列 Bmei

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	

配列 Ksu

(0)	26
(1)	4
(2)	7
(3)	5
(4)	6
(5)	4

配列 Kmei

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
(1)							
(2)							
(3)							
(4)							
(5)							

配列 Sban

(1)	
(2)	
}	}
(29)	
(30)	

配列 Smei

(1)	
(2)	
}	}
(29)	
(30)	

配列 Bban

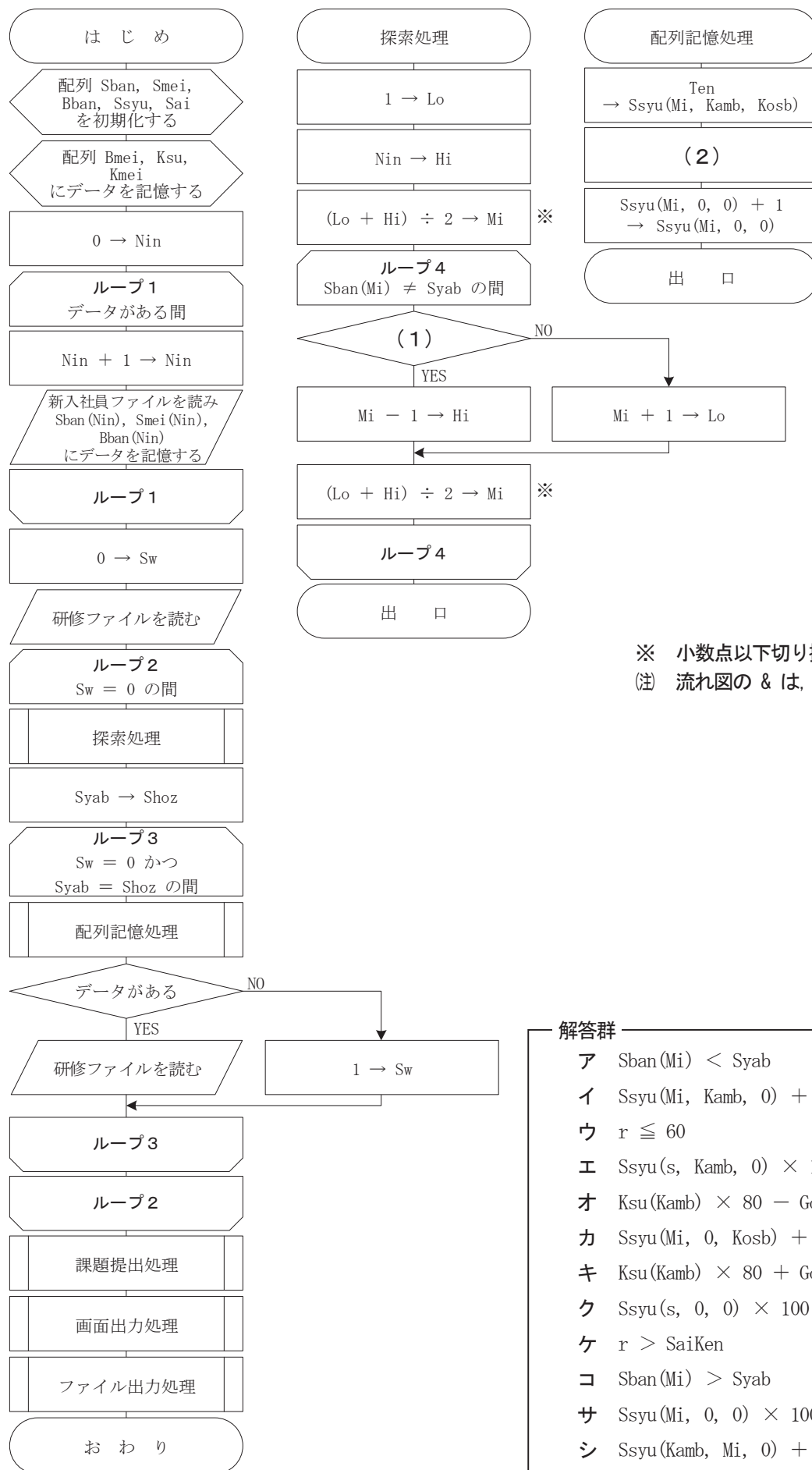
(1)	
(2)	
}	}
(29)	
(30)	

配列 Ssyu

	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
(0)								
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								
(30)								
(1)								

配列 Sai

	(1)	(2)	(3)	(4)
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
}	}	}	}	}



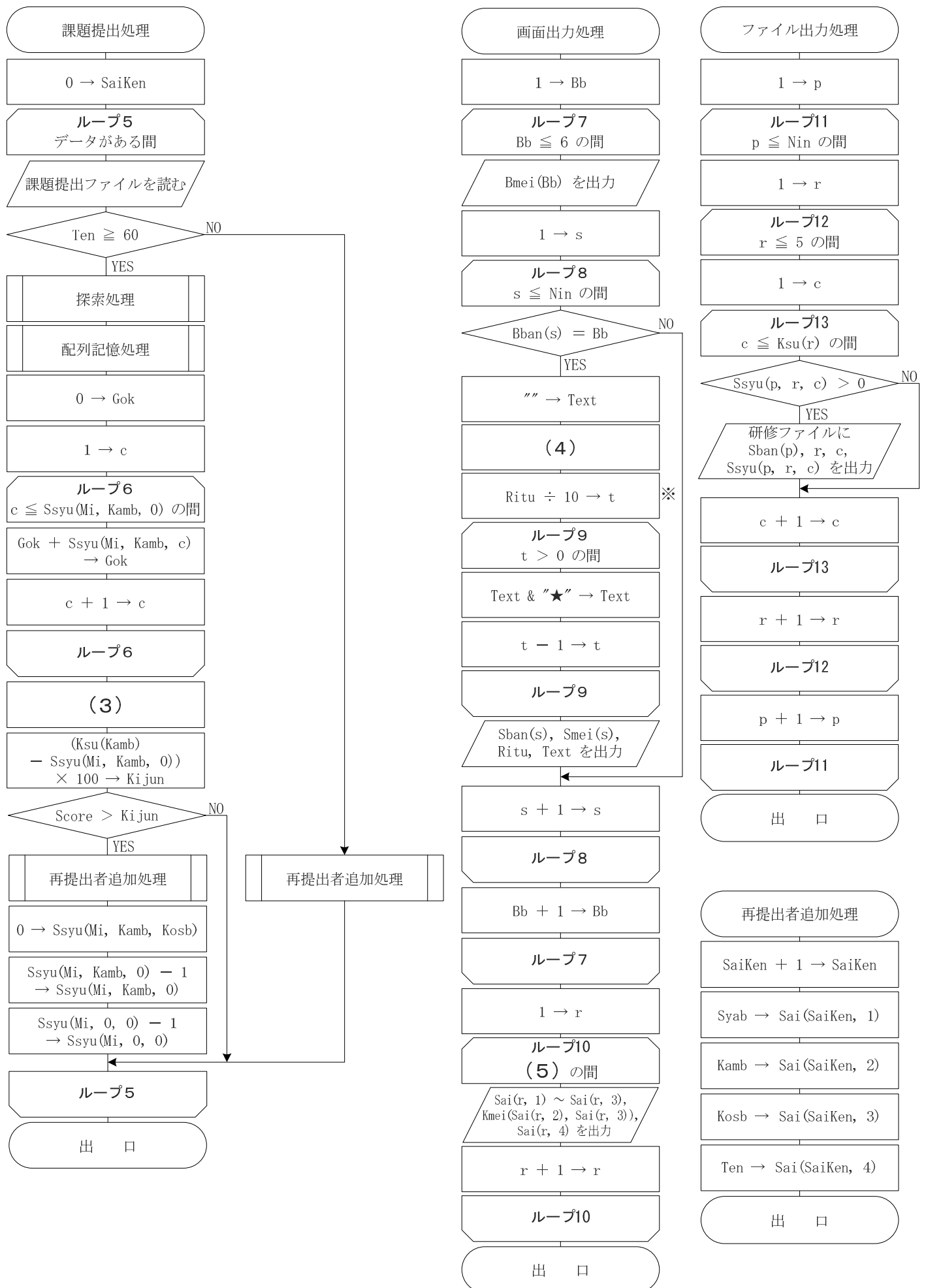
※ 小数点以下切り捨て

(注) 流れ図の & は、文字列の結合を表す。

解答群

- ア $\text{Sban}(\text{Mi}) < \text{Syab}$
イ $\text{Ssyu}(\text{Mi}, \text{Kamb}, 0) + 1 \rightarrow \text{Ssyu}(\text{Mi}, \text{Kamb}, 0)$
ウ $r \leq 60$
エ $\text{Ssyu}(\text{s}, \text{Kamb}, 0) \times 100 \div \text{Ksu}(0) \rightarrow \text{Ritu}$
オ $\text{Ksu}(\text{Kamb}) \times 80 - \text{Gok} \rightarrow \text{Score}$
カ $\text{Ssyu}(\text{Mi}, 0, \text{Kosb}) + 1 \rightarrow \text{Ssyu}(\text{Mi}, 0, \text{Kosb})$
キ $\text{Ksu}(\text{Kamb}) \times 80 + \text{Gok} \rightarrow \text{Score}$
ク $\text{Ssyu}(\text{s}, 0, 0) \times 100 \div \text{Ksu}(0) \rightarrow \text{Ritu}$
ケ $r > \text{SaiKen}$
コ $\text{Sban}(\text{Mi}) > \text{Syab}$
サ $\text{Ssyu}(\text{Mi}, 0, 0) \times 100 \div \text{Ksu}(0) \rightarrow \text{Ritu}$
シ $\text{Ssyu}(\text{Kamb}, \text{Mi}, 0) + 1 \rightarrow \text{Ssyu}(\text{Kamb}, \text{Mi}, 0)$
ス $\text{Sban}(\text{Lo}) \neq \text{Syab}$
セ $r \leq \text{SaiKen}$
ソ $\text{Ksu}(\text{Kamb}) \times 20 - \text{Gok} \rightarrow \text{Score}$

「問題を読みやすくするために、
このページは空白にしています。」



【4】 データ圧縮のアルゴリズムを学習するために、ハフマン符号による符号化のプログラムを作成した。処理条件にしたがって、流れ図の(1)～(6)の空欄をうめなさい。

入力形式

圧縮対象文字ファイル

でんしめえるをりようするには、でんしめえるのさくせい
やそうじゅしんをおこなうそふとうえあであるめえらをし
ようする。また、でんしめえるをうえぶぺえじじょうでり
ゝ

出力形式

(文字)	(出現回数)	(ハフマン符号)
う	12	000
る	10	1101
ゝ	ゝ	ゝ
つ	1	0110001
ざ	1	0110000

(処理結果)

圧縮前：2,096ビット(131文字)

圧縮後：658ビット

処理条件

(1) 圧縮対象文字ファイルを読み、次の処理を行う。

- ・ 配列 Amoji に、圧縮対象文字を1文字ずつ記憶する。なお、圧縮対象文字ファイルは200文字以内である。
- ・ 配列 Chara に、圧縮対象文字ファイル中で利用されている文字の種類ごとに1文字ずつ記憶し、配列 Count に、その出現回数を求める。なお、Chara と Count の添字は対応している。

(2) 配列 Chara と 配列 Count を出現回数の降順に並べ替える。

(3) 次の手順によりハフマン符号を求める。ただし、定義済み処理 符号化処理(Chara, Count, Num) は、配列 Chara, 配列 Count, Num を、それぞれ、配列 Cha(), 配列 Cou(), Nu に引数として渡して処理を実行する。なお、配列は参照するアドレスを、それ以外の変数は値を渡すものとする。

- ① 配列 Cha と配列 Cou の最後尾の2文字を除いて、Cha を配列 Ch に、Cou を配列 Co にそれぞれ複写する。さらに、その除いた2文字を結合し、これを仮の1文字として ChWork に記憶する。この時の ChWork の出現回数は、結合した2文字の出現回数の和となり、その値は CoWork に求める。

配列 Cha

～	(39)	(40)	(41)	(42)	(43)	(44)	～
～	び	も	ば	ざ			～

配列 Cou

～	(39)	(40)	(41)	(42)	(43)	(44)	～
～	1	1	1	1	1	0	～

配列 Ch

～	(39)	(40)	(41)	(42)	(43)	(44)	～
～	び	も	ば				～

配列 Co

～	(39)	(40)	(41)	(42)	(43)	(44)	～
～	1	1	1	0	0	0	～

ChWork

つぎ

CoWork

2

- ② 配列 Co が降順になるように CoWork の値を挿入し、対応する配列 Ch にも ChWork の値を挿入する。なお、同じ出現回数の場合、配列 Ch の記憶順とする。

- ③ 1文字分減った②の結果に対して、符号化処理(Ch, Co, Nu - 1)を実行する。

- ④ 文字の種類が2種類になるまで①～③を繰り返す。

- ⑤ ④の結果、最後まで残った2種類の文字に対して、上位の文字に1を、下位の文字に0のビット列を割り当て、配列 Huff に記憶する。

- ⑥ ⑤の2種類の仮の文字から戻りながら、各文字にビット列を同様に割り当て、配列 Huff に記憶する。なお、1段階戻ったときの2種類の文字に対しては、直前の段階で割り当てたビット列の右端に1(上位)または0(下位)を付加して対応させる。

- ⑦ 元の種類の文字すべてに対して、同様にしてビット列を割り当て、配列 Huff に記憶する。

(4) 文字と出現回数、ハフマン符号を出力形式のように表示する。

(5) 圧縮対象文字1文字を16ビットとしてビット数に換算し、圧縮後のビット数とともに表示する。ただし、文字数はLen関数により求める。なお、Len(引数)は、引数の文字数を返す。

(6) 入力データにエラーはないものとする。

配列 Amoji

(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	～	(200)
	で	ん	し	め	え	～	

配列 Chara

(0)	(1)	(2)	～	(200)
			～	

配列 Huff

(0)	(1)	(2)	～	(200)
			～	

配列 Count

(0)	(1)	(2)	～	(200)
			～	

<定義済み処理 符号化処理 内で利用する配列>

配列 Cha

(0)	(1)	～	(199)	(200)
		～		

配列 Ch

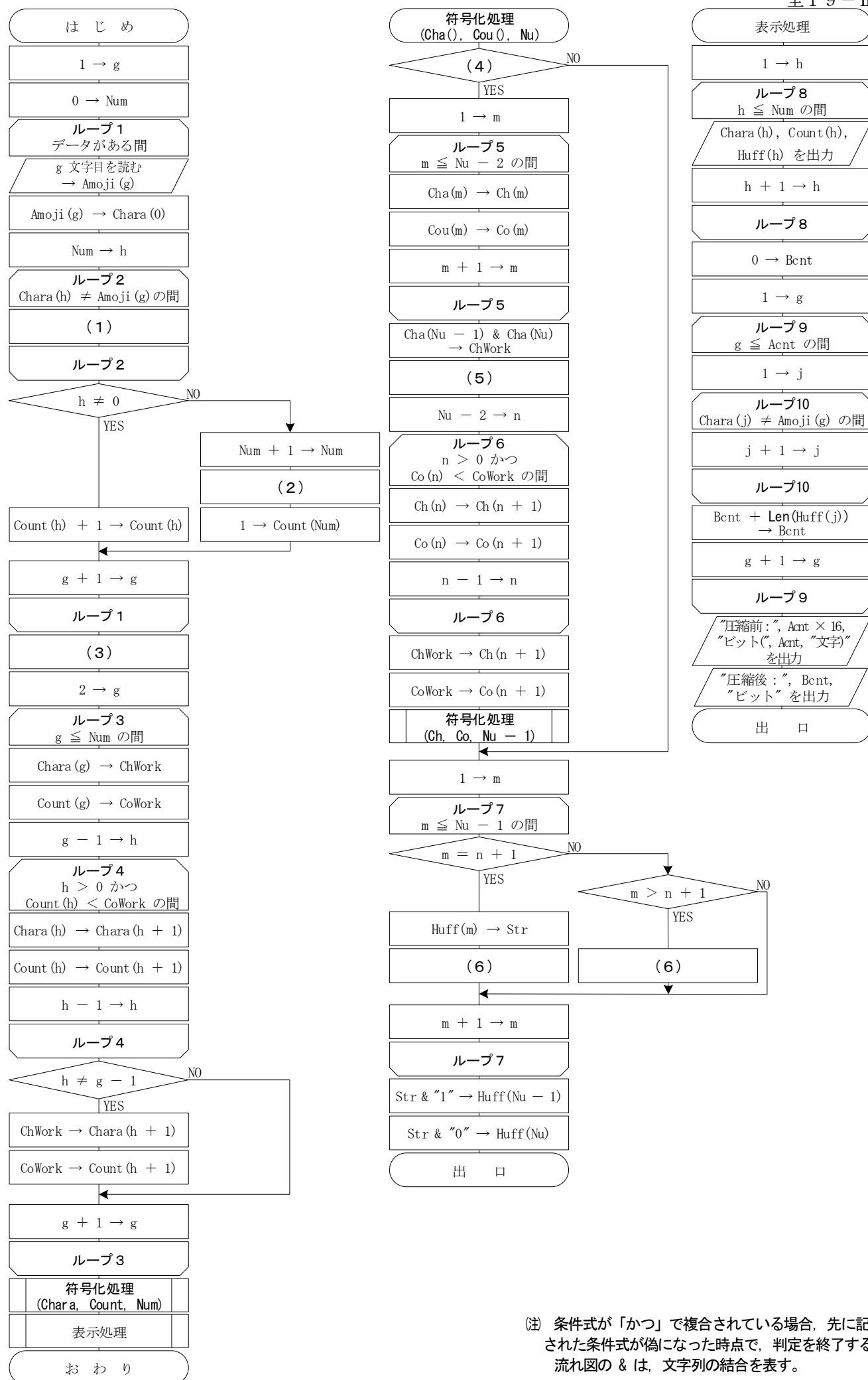
(0)	(1)	～	(199)	(200)
		～		

配列 Cou

(0)	(1)	～	(199)	(200)
		～		

配列 Co

(0)	(1)	～	(199)	(200)
		～		



(注) 条件式が「かつ」で複合されている場合、先に記述された条件式が偽になった時点で、判定を終了する。
流れ図の & は、文字列の結合を表す。

〔Ⅱ〕 表計算とアルゴリズム 解答用紙

選手番号		得点	
------	--	----	--

【 1 】

問 1	(1)		(2)		(3)		(4)	
問 2	(1)		(2)		(3)			
問 3	(1)		(2)		(3)		(4)	
問 4	(1)		(2)		(3)		(4)	
問 5	(1)		(2)		(3)		(4)	

【 2 】

問 1	(1)		(2)					
問 2	(1)		(2)		(3)		(4)	
問 3	(1)		(2)		(3)		(4)	
問 4	(1)		(2)		(3)			
問 5	(1)		(2)		(3)			
問 6								

【 3 】

(1)		(2)		(3)		(4)		(5)	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

【 4 】

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	

〔Ⅱ〕 表計算とアルゴリズム 審査基準

選手番号		得点	
------	--	----	--

【1】

問 1	(1)	ウ	(2)	オ	(3)	カ	(4)	エ
問 2	(1)	カ	(2)	ア	(3)	ク		
問 3	(1)	イ	(2)	オ	(3)	カ	(4)	ク
問 4	(1)	エ	(2)	ウ	(3)	キ	(4)	カ
問 5	(1)	ク	(2)	キ	(3)	オ	(4)	ア

問ごとに 4 点 20 点

【2】

問 1	(1)	C7	(2)	H7				
問 2	(1)	AND	(2)	SUBSTITUTE	(3)	0	(4)	FIND 別解 SEARCH
問 3	(1)	COUNTIFS 別解 COUNTIF	(2)	MATCH	(3)	C18	(4)	1
問 4	(1)	OK	(2)	COUNT	(3)	COUNTA		
問 5	(1)	CEILING	(2)	3	(3)	50		
問 6	117,500							

問 4 (2) (3) 順不同
問 6 コンマなし可

問 4 (2) (3) 順不同

問 6 コンマなし可

問ごとに 5 点 30 点

【3】

(1)	コ	(2)	イ	(3)	オ	(4)	ク	(5)	セ
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

各 4 点 20 点

【4】

(1)	$h - 1 \rightarrow h$
(2)	$\text{Amoji}(g) \rightarrow \text{Chara}(\text{Num})$
(3)	$g - 1 \rightarrow \text{Acnt}$
(4)	$\text{Nu} > 2$
(5)	$\text{Cou}(\text{Nu} - 1) + \text{Cou}(\text{Nu}) \rightarrow \text{CoWork}$
(6)	$\text{Huff}(m + 1) \rightarrow \text{Huff}(m)$

各 5 点 30 点